

実験題目 鏡に全身をうつすのに、必要な鏡の上下の長さ 教科書 P151

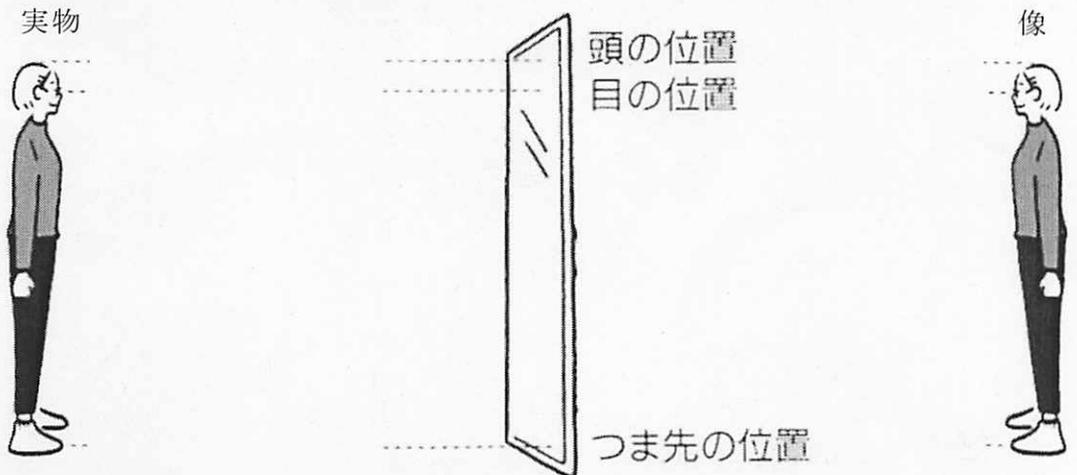
実験日 令和5年____月____日____曜日 ____校時

学習のねらい 鏡に全身をうつすのに、必要な鏡の上下の長さを作図して求めることが出来る。

1. 実物と鏡の距離が近い場合



2. 実物と鏡の距離が遠い場合



鏡にうつる「頭」から「つま先」までの長さ cm

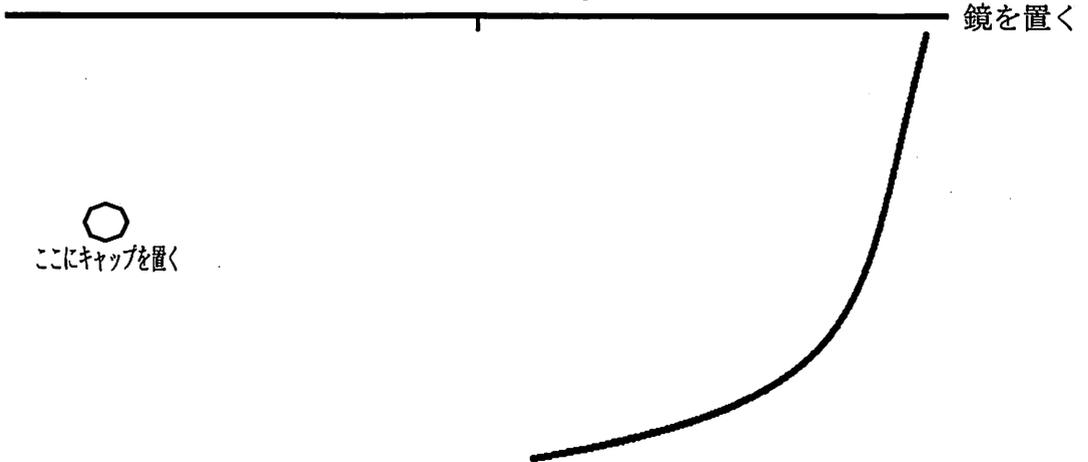
鏡にうつる「頭」から「つま先」までの長さは、実物と鏡に距離に関係なく実物の長さの になる。

7年____組____番氏名_____

実験日 令和5年 ___月 ___日 ___曜日 ___校時

学習のねらい 鏡に当たる前後の光の進み方を作図して、鏡に反射する法則を説明することができる。

- 1. 鏡に映る物体(サイバンのキャップ)が鏡上の黒線と重なって見えるのは右側のカーブのどこから見たら見えるかカーブの線上にしるしをつけなさい。



【反射の法則】

◎考えてみよう

湯気でくもった鏡になにもうつらないのはなぜか

これを()と言う。

2. 鏡の世界

キャップ



鏡



目の位置

◎鏡に映って見える物体を。もとの物体の(①)という。

◎物体と鏡に映る(①)とは、鏡に対して(②)の位置にある。

7年 ___組 ___番氏名 _____